

東京2020オリンピック・パラリンピックを半年後に控え、日本国民のスポーツに対する関心は、ますます高まっています。前回号に続き、坂出が誇る偉人、塩飽玉男氏を紹介します。

塩飽玉男氏は、明治39年5月に坂出市で生まれ、「偉人たちのあしあと①」でご紹介した、山田兼松氏と同じように、浜子と呼ばれる仕事をしていました。一年中早朝から夕方まで広い塩田を走りまわる労働は、青年をたくましいマラソン選手に育てました。そして、山田兼松氏、塩飽玉男氏、楠好蔵氏など塩田で働く青年から戦前の代表的マラソン選手が輩出されました。

塩飽氏は、大正15年の第3回明治神宮体育大会10000メートルで2位となり、昭和4年の第5回明治神宮体育大会10000メートルでは優勝。その後、昭和6年の第6回明治神宮体育大会兼第18回全日本陸上競技選手権大会マラソンでは、2時間34分04秒(日本最高)(当時)で優勝しました。昭和7年の第19回全日本陸上競技選手権大会マラソンでも優勝し、昭和11年の第1回陸上オリンピック候補選手記録会20マイル短縮マラソンでは、1時間50分32秒(世界最高)(当時)で優勝しました。同年には、第11回オリンピックベルリン大会に出場しました。

毎年、丸亀市で開催される香川丸亀国際ハーフマラソン大会では、特別表彰として「山田兼松章」「大浦留市章」とともに「塩飽玉男章」があります。

坂出市立体育館2階「坂出市スポーツの殿堂」の展示コーナーの中でも、塩飽玉男氏が紹介されています。体育館に行かれた際には、ぜひ2階の展示コーナーを覗いてみてください。



しわく たまお  
塩飽 玉男



年次	大会名	種目	順位
明治39年	明治神宮体育大会	10000メートル	2位
昭和4年	明治神宮体育大会	10000メートル	優勝
昭和6年	明治神宮体育大会兼第18回全日本陸上競技選手権大会	マラソン	2位
昭和7年	第19回全日本陸上競技選手権大会	マラソン	1位
昭和11年	第1回陸上オリンピック候補選手記録会	20マイル短縮マラソン	1位
昭和11年	第11回オリンピックベルリン大会	マラソン	出場



塩飽のマラソン足跡



日本代表のマラソン選手  
オリンピック(1964)にて



鹽土原清也山田、楠好蔵と繋げる塩飽氏



※参考文献: 「坂出市スポーツの殿堂」 「ふるさとの思い出 写真集 大正 坂出」 写真: 「坂出市スポーツの殿堂」 「坂出市立体育館」  
明治 昭和

### 編集後記

毎年恒例の一年の世相を表す「今年の漢字」。昨年の漢字は「令」でした。新元号令和の「令」— 昭和は、ずいぶん昔になった気がします。昨年も、本当にいろいろあった一年でした。災害や事件、事故など悲しい出来事もありましたが、その一方で新元号の発表と新天皇の即位やラグビーW杯の応援で日本中が盛り上がり、有名人の結婚報道に驚いたり、明るい話題もありました。

本市においては、すっかり地方イベントとして定着した瀬戸内国際芸術祭2019で、沙弥島や瀬居町も大きなにぎわいをみせました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。皆様にとっての昨年の一字は何だったのでしょうか？

さて今年は、いよいよ新庁舎が完成します。新しい坂出市のシンボルの誕生に心が躍ります。市民の皆様にも、きっと愛される新庁舎となることでしょう。そして、なんといっても今年はオリンピックイヤーです。4月19日には聖火が本市を走り抜けます。東京2020オリンピック・パラリンピックの成功とともに、今年一年が、市民の皆様にとって、災害や事故のない、幸多き一年となることを切に願ってやみません。

(寒川)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……茨 智仁  
委員……丸岡豊和 東原 章 鳥飼年幸  
寒川佳枝 若杉輝久 野角満昭

次回開催は…  
3月定例会を3月上旬  
に開催予定です。

